

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関東セントラルキッチン新築工事	階数	地上3F
建設地	伊勢原市鈴川37番	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	322 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年10月 予定	評価の実施日	2016年2月8日
敷地面積	9,555 m ²	作成者	株式会社 食品施設計画研究所
建築面積	4,013 m ²	確認日	
延床面積	9,620 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ BEE=1.0
3.0 1.5

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	87%
③上記+②以外の	87%
④上記+	87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	2.0
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

機能性	2.8
耐用性・信頼性	3.0
対応性・更新性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.5

生物環境	1.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	1.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.6
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

水資源	3.0
非再生材料の使用削減	2.4
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化への配慮	3.5
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 工業専用地域に建つ食品工場として、建築物の環境品質を高めるのと同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。		その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 ①給水管=VP、給湯管=ステンレス鋼管、排水管=VP ②節水型便器を採用し、可能な限り配管の系統を区分し、災害等の停電時の対策として受水槽に水道の蛇口を設置。 ③階高3.9m以上を確保している。 ④壁長さ比率=0.086	Q3 室外環境(敷地内) ①空地率=57.57%
LR1 エネルギー ①BEI=0.77	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境 ①ライフサイクルCO ₂ 排出率=87% ②「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される